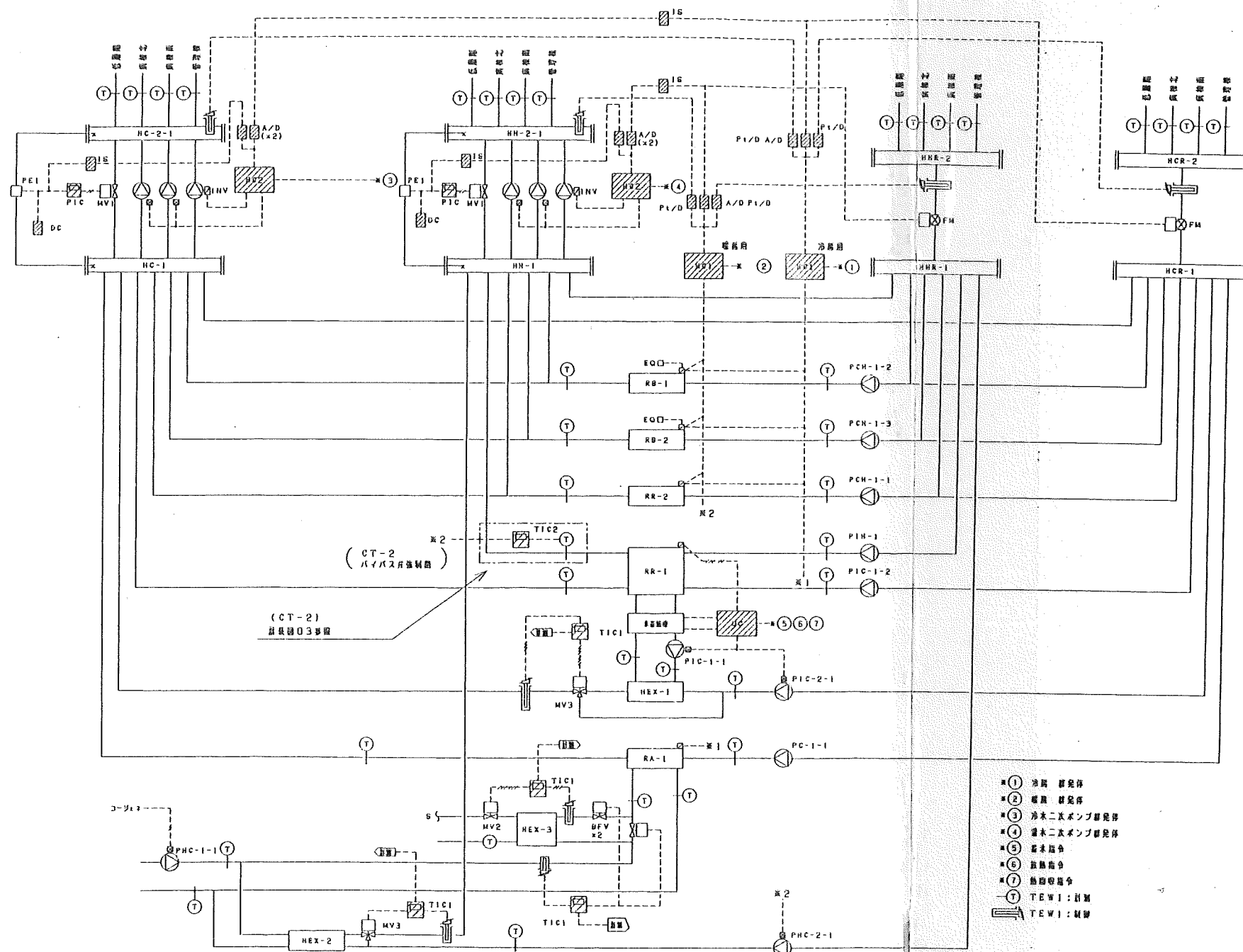
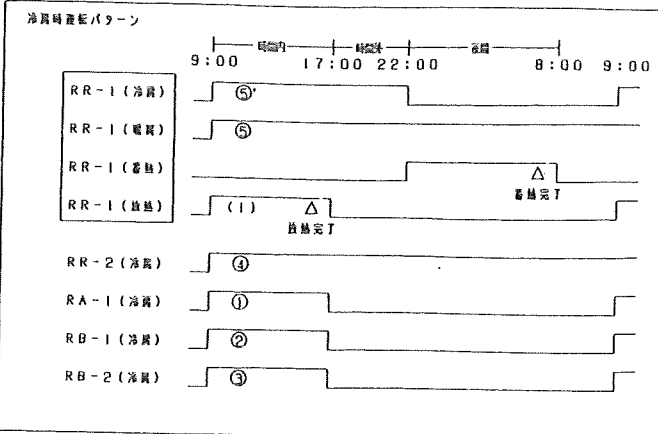


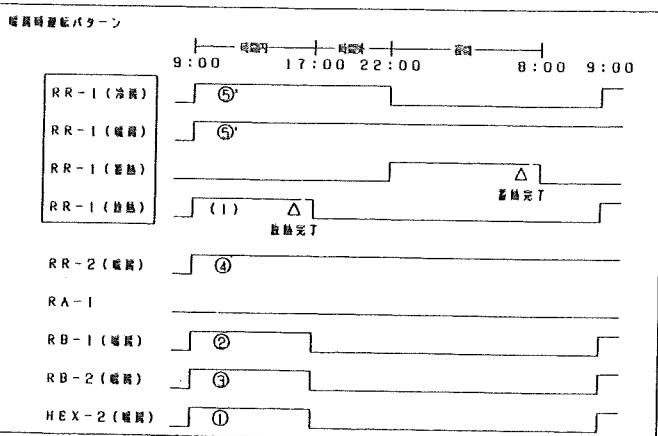
別紙



- ① 冷却 部 発 生
- ② 暖 房 部 発 生
- ③ 冷水二次ポンプ 部 発 生
- ④ 温水二次ポンプ 部 発 生
- ⑤ 温水 部 発 生
- ⑥ 温水 部 発 生
- ⑦ T E W I : 計 測
- T E W I : 制 御



運転手順
 ① 遠方手動又はタイムスケジュールにより、以下のポイントを起動する。
 ・冷房運転開始を ON⇒RA-1をベースとして、冷房HCIにて台数制御開始
 ・RR-1放熱指令を ON⇒PIC-1-1及びPIC-2-1を起動し放熱運転開始
 ・RR-1放熱指令を ON⇒RR-1にて冷房及び暖房運転開始 (温水必要時のみ起動)
 ② 以下の制御を行い、冷房HCIにて暖房の台数を決定し起動する。
 冷房台数制御負荷=冷房全負荷-HEX-1冷水発生熱量-RR-1冷水発生熱量 (熱回収)
 ※HEX-1冷水発生熱量及びRR-1冷水発生熱量については、流量による測定とし、流量については、ポンプ定額流量にて計算する。
 ※RR-1にて熱回収運転を行わない場合、RR-1による冷房運転は、台数制御の優先度となる。
 ③ 遠方手動又はタイムスケジュールにより、以下のポイントを起動する。
 ・RR-1放熱指令を ON⇒RR-1にて冷房及び暖房運転開始 (温水必要時のみ起動)
 ・RR-2放熱指令を ON⇒RR-2にて冷水運転開始
 ※温水の量不足及び冷水運転の運転制御は、全て管理者が行うものとし、台数制御は行わない。
 ④ 以下の制御を行い、暖房PMXにて暖房の台数を決定し起動する。
 暖房台数制御負荷=暖房全負荷-RR-1温水発生熱量 (熱回収)
 ※RR-1温水発生熱量については、流量による測定とし、流量については、ポンプ定額流量にて計算する。
 ※RR-1にて熱回収運転を行わない場合、RR-1による暖房運転は、台数制御の優先度となる。
 ⑤ 遠方手動又はタイムスケジュールにより、以下のポイントを起動する。
 ・RR-1蓄熱指令を ON⇒RR-1にて蓄熱運転開始 (蓄熱完了時OFF)
 ・RR-1放熱指令を ON⇒RR-1にて暖房運転開始 (冷水必要時のみ起動)
 ・RR-2放熱指令を ON⇒RR-2にて温水運転開始
 ※温水の量不足及び温水運転の運転制御は、全て管理者が行うものとし、台数制御は行わない。
 ※中継機については、基本的に冷房時と同動作とし、RB-1の運転のみ停止とする。



運転手順
 ① 遠方手動又はタイムスケジュールにより、以下のポイントを起動する。
 ・暖房運転開始を ON⇒HEX-2をベースとして、暖房HCIにて台数制御開始
 ・RR-1放熱指令を ON⇒PIC-1-1及びPIC-2-1を起動し放熱運転開始 (冷水必要時のみ起動)
 ・RR-1放熱指令を ON⇒RR-1にて冷房及び暖房運転開始 (温水必要時のみ起動)
 ※放熱運転及び熱回収運転の制御は、全て管理者が行うものとし、台数制御は行わない。
 ② 以下の制御を行い、暖房PMXにて暖房の台数を決定し起動する。
 暖房台数制御負荷=暖房全負荷-RR-1温水発生熱量 (熱回収)
 ※RR-1温水発生熱量については、流量による測定とし、流量については、ポンプ定額流量にて計算する。
 ※RR-1にて熱回収運転を行わない場合、RR-1による暖房運転は、台数制御の優先度となる。
 ③ 遠方手動又はタイムスケジュールにより、以下のポイントを起動する。
 ・RR-1蓄熱指令を ON⇒RR-1にて蓄熱運転開始 (蓄熱完了時OFF)
 ・RR-1放熱指令を ON⇒RR-1にて暖房運転開始 (冷水必要時のみ起動)
 ・RR-2放熱指令を ON⇒RR-2にて温水運転開始
 ※温水の量不足及び温水運転の運転制御は、全て管理者が行うものとし、台数制御は行わない。
 ※中継機については、基本的に冷房時と同動作とし、RB-1の運転のみ停止とする。

竣工